

科目名	商業史		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2023年度 後期	単位数	2
担当教員	八木橋 彰		
内容および計画	<p>我々消費者は、世間に流通している大半の商品を小売業を通じて購買している。これらの小売業は営利組織であることから、たくさんの消費者に来店してもらい、購買を促進させるための革新的な販売方法を日々検討している。しかし、こうした革新は、ある日突然ひらめいて生み出されるのではなく、そのモデルとなるビジネスが存在していたり、消費者の変化、情報化などの社会環境の変化、同業他社との競争などさまざまな要因が関わっている。その結果、現在では、百貨店、食品スーパー、総合量販店、専門量販店、コンビニエンスストア、インターネット通販などさまざまな小売形態が登場し、現在の生活を便利なものに行っているが、それらは先駆者達の試行錯誤によって誕生したものであることを忘れてはならない。さらに、学生諸君は、今後の人生を歩む中で、新しい物事の創造や大きな革新を生み出すことが期待されている。</p> <p>以上を踏まえ、この科目では、社会が大きく変化した戦後以降の日本の近代小売業（百貨店、コンビニエンスストア、インターネット通販等）を題材にして、その発展や社会・歴史・文化的背景、および消費構造との関係を学ぶことを通じて、新しい物事の創造や革新を生み出す方法を学ぶことを目的とする。</p>		
1	【授業の進め方、商業史を学ぶ意義】 授業の進め方、商業史を学ぶ意義を漫画・アニメを題材しながら説明する。		
2	【商店街の成立・発展】 日本全国に点在している商店街が誕生した歴史的過程や現在の商店街の課題について説明する。		
3	【百貨店の成立・発展①】 DVDを観賞しながら百貨店が誕生するまでの歴史的背景を学ぶとともに、現在の百貨店の今後の可能性について考える。また、これに関するレポート課題を出題する。		
4	【百貨店の成立・発展②】 現在の百貨店の基盤となっている大正・戦前・戦後の百貨店の発展過程について説明する。		
5	【食料品スーパーの成立・発展】 食品スーパーが誕生した歴史的背景や、現在の食品スーパーでの品揃えや買い物行動が定着した背景を説明する。		
6	【総合量販店の成立・発展】 総合量販店が誕生した歴史的背景、現在の総合量販店の品揃えが定着した歴史的背景、および現在の総合量販店が直面している課題について説明する。		
7	【専門量販店の成立・発展】 専門量販店が誕生した歴史的背景や発展過程を家電量販店やドラッグストアを事例にしながら説明する。		
8	【ショッピングセンターの成立・発展】 ショッピングセンターが誕生した歴史的背景や、現在のショッピングセンターの課題について説明する。		
9	【コンビニエンスストアの成立・発展】 コンビニエンスストアが誕生した歴史的背景やコンビニエンスストアがもたらした日常生活への影響について説明する。 第1回～第9回までの内容を踏まえた課題を出題する。		
10	【グループ研究の課題説明・グループごとの話し合い】 過去・現在を学ぶことを通じて、新しい物事の創造・革新を生み出すプロセスをグループ研究を通じて学ぶ。		
11	【グループごとの話し合い】 グループごとの話し合いとプレゼンテーションのための資料を作成する。		
12	【インターネット小売業の成立・発展】 インターネット小売業が誕生した歴史的背景やインターネット小売業がもたらした日常生活への影響、さらにはそれによって生じた課題について説明する。		
13	【SPAの成立・発展】 SPAが誕生した歴史的背景やSPAがもたらしたファッションの革新、さらにはそれによって生じた課題について説明する。		
14	【プレゼンテーション】 グループ研究を踏まえて、他人に伝えることを意識したプレゼンテーションを実施する。		

15	【プレゼンテーション】 グループ研究を踏まえて、他人に伝えることを意識したプレゼンテーションを実施する。			
教科書				
タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
指定しない。毎回の授業でプリントを配布する。				
参考書	石井淳蔵・向山雅夫(2009)『小売業の業態革新』中央経済社。 高島克義・高橋郁夫(2020)『小売経営論』有斐閣。 満園 勇(2021)『日本流通史 小売業の近代化』有斐閣。			
成績評価				
	評価方法	割合(%)		
期末テスト		50		
レポート		30		
グループ研究		20		
<ul style="list-style-type: none"> ・期末テストは、記述問題。持込不可。詳細は後日説明する。 ・授業の内容を踏まえたレポートを2回実施する予定である。そのうち1回は、DVDを鑑賞してのレポートである。その他、授業内でも簡単なレポートを書いてもらう場合がある。 ・グループ研究を1回行う予定であるが、内容は履修者の人数を考慮して決定する。 				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本に存在している近代小売業が成立した歴史や背景を説明できるようになること。 ・過去・現在を学び、未来に向けた新しい物事を創造できるようになること。 ・新しい物事を創造するだけでなく、それについての自分の考えを他人に向けて表現できるようになること。 			
先修条件	・マーケティング入門を履修済みであること。			
実務経験				
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・出欠の確認は毎回行う。 ・不適切な授業態度（遅刻・途中退出・私語）は謹むこと。 ・講義を聴くだけでなく、聴いたことをプリントやノートにメモすること。 ・わからないことがあったら、そのままにせず、遠慮なく申し出ること。 ・時間割やその他の状況によって授業内容や順序を変更することがある。 			